

# プロローグ・オブ・ザ・オシゴト<sup>⑯</sup>

## 食品×とろみの研究で 苦しんでいる人を助けたい!

県立広島大学 人間文化学部 健康科学科 4年次

與儀沙織さん(沖縄県立球陽高校)

県立広島大学 大学院総合学術研究科 人間文化学専攻

山縣誓志江さん(山口県立岩国高校)



山縣さん

與儀さん

—県立広島大学 健康科学科を志望した理由を教えてください。

【與儀】部活でバスケットボールをずっとやっていてスポーツ栄養の分野に興味があって、この大学がその分野に力を入れているということで志望しました。

【山縣】高校2年生くらいの時、貧血で鉄のサプリメントを飲んだら治ったり、骨折したときにカルシウムのサプリメントを摂ったら早く骨がくつついたりしたことがすごく面白いなと思って管理栄養士に興味を持ち始めました。

—ゼミではどんなことを学んでいますか?

【山縣】病院の患者さんが水分を摂取する際に、飲み込みやすくする要因として「とろみ」はすごく重要な要素なのですが、従来やり方よりも、より人間の感覚に近い測定結果を得るために測定方法を研究してきて、今回大学院での集大成として論文にまとめました。

【與儀】病院にはとろみを測定する機械は設置されていないので、今は見た目で判断したりしているのですが、それだと病院によって基準がバラバラになってしまって、簡易的に測定できる方法を考えて、とろみの基準を統一化できないかを検討しています。



食物の固さや物性を調べる装置で計測したデータを様々な角度から分析する。



温度・湿度など一定の条件で食品を保管して、雑菌等の繁殖を調べる実験。

### 先生からのメッセージ



### えんげ 嚥下障害を解決することで社会の役に立つという 高い意識を持って課題に取り組んでほしい。

健康科学科は、管理栄養士を養成する学科で、昨年の実績は97%が国家試験に合格しています。管理栄養士の活躍の場は幅広く、病院や高齢者福祉施設、保健所、企業の研究部門などがあります。

私のゼミでは、嚥下障害といって食べ物や飲み物をうまく胃に送れない高齢者の方に、どういう食事だと食べやすいのか、どのようにして栄養状態を回復させるかといったことをテーマに研究しています。

具体的に言うと嚥下障害の場合、水分に少しとろみがついていると飲み込みやすくなります。またとろみの強弱によっても、飲み込みやすさが変わってきます。そのとろみの強弱をどの位にすればよいのかと

いう基準を定める研究をしています。また現状ではそれぞれの病院・高齢者施設でとろみの基準が異なり、転院する場合には申し送りが困難な状況があるので、基準を統一化して解決する方法を検討しています。

研究結果は、今まで厚生労働省の定める基準に採用されたりしていて、食品メーカーが嚥下困難者用の食品をつくる場合はその数値に準拠して商品化してくださいという形で広がっていくなど成果を上げています。嚥下障害の方向けの食事という分野は日本が世界の最先端をいっています。

ここでの研究は、病院や高齢者施設で困っている状況をなんとか解決しようとしていますから、それぞれの研究が順調に進めばそれだけ環境整備が進むことになります。学生には、今やっている研究結果がどのように社会と結びつくのかを伝え、高い意識を持って取り組んでもらうよう指導しています。社会に出てからもここで得た経験を活かして人の役に立つ管理栄養士になってほしいと思います。

### 県立広島大学



### 広島キャンパス

主体的に考え、行動し、地域社会で  
活躍できる実践力のある人材を育成

#### プロフィール

##### 広島キャンパス

- 人間文化学部／国際文化学科、健康科学科
- 経営情報学部／経営学科、経営情報学科

##### 庄原キャンパス

- 生命環境学部／生命科学科、環境科学科

##### 三原キャンパス

- 保健福祉学部／看護学科、理学療法学科、作業療法学科、コミュニケーション障害学科、人間福祉学科

#### 所在地

広島キャンパス  
〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号

庄原キャンパス  
〒727-0023 広島県庄原市七塚町562番地

三原キャンパス  
〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号

TEL:082-251-9540(入試担当)

URL:<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>